

写真21：鳶ヶ城跡より1回目の白色煙を撮影

現状は『のろし』にピントを合わせるのが困難なほど樹木が茂っていますが、本来、鳶ヶ城が鹿背山城主郭を見下すことができる位置にあるということが分かります。



写真22：鳶ヶ城跡より2回目の白色煙を撮影



写真23：上狛より1回目の白色煙を撮影



写真24：上狛より1回目の黄色煙を撮影



写真25：上粕より2回目の白色煙を撮影



写真26：稲屋妻城跡より1回目の白色煙を撮影

地図と照合して送電鉄塔などの位置関係から鹿背山城の位置は特定できますが、「のろし」の少し右（南）に見える野焼きの煙に他の観察地でも惑わされたようです。



写真27：吐師浜跡付近より2回目の白色煙を撮影



写真28：下粕城館跡付近より鹿背山城方面を撮影

報告書の通り、視認は出来ましたが写真で捉えることは出来ませんでした。山城町の山並みの上に鹿背山が見える位置関係のため、位置の特定が難しかったものと思われます。地図を確認すると、鹿背山城跡の位置は写真左の鉄塔よりも更に左側と思われます。



写真29：口駒ヶ谷城館跡付近より1回目の白色煙を撮影

山城町、木津町、加茂町、奈良市にまたがって前後に連なる山並みが一つの山のように見えるため、一見してその中から鹿背山城跡の位置を探すことの困難さがよく分かります。また、背後に山がある方が白色煙が見えやすいということも分かります。



写真30：内田城跡麓より2回目の白色煙を撮影

距離約9.5km。今回の実験で鹿背山城跡から最も離れた観察地でしたが、間に山がなく、観察し易かったかも知れません。背後に見える加茂カントリークラブのある山の更に後方は笠置・柳生辺りと思われます。

